

《福島県二本松市に移った浪江小学校》



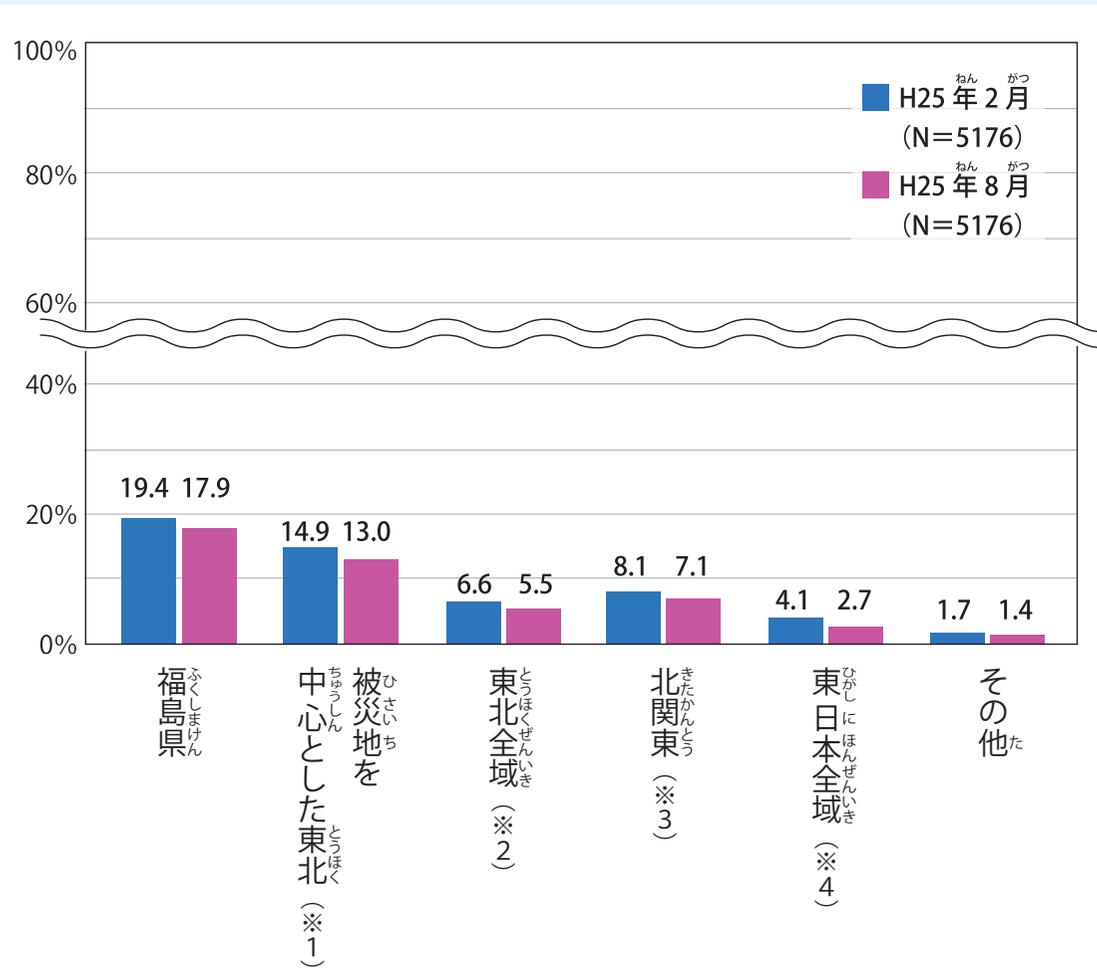
写真提供：浪江町教育委員会
(掲載ページ：小学生用 P.4)

《移った先の教室で、授業を受ける小学生たち》



写真提供：浪江町教育委員会
(掲載ページ：小学生用 P.4)

《食品を買うことをためらう産地のグラフ》



(※1) 被災地を中心とした東北：
岩手県、宮城県、福島県

(※2) 東北全域：
青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、
福島県

(※3) 北関東：
茨城県、栃木県、群馬県

(※4) 東日本全域：
青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、
福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、
千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、
新潟県、静岡県

《食品中の放射性物質に関する基準値（放射性セシウム）》

食品群	一般食品	乳児用食品	牛乳	飲料水
基準値 (ベクレル Bq/kg)	100	50	50	10

※いずれの食品群も放射性ストロンチウム、プルトニウムなどをふくめて基準値を設定しています

《自治体^(※1)における食品等の検査結果(平成25年度)》

品目	検査点数	基準値 超過点数	超過割合
こめ 米	1,068万	28	0.0003%
やさい 野菜	14,713	0	0%
かじつ 果実	3,745	0	0%
ちゃ 茶	424	0	0%
げんにゅう 原乳	1,398	0	0%
ぎゅうにく 牛肉	130,386	0	0%
ぶたにく、とりにく、たまご 豚肉、鶏肉、卵 ほか、ちくさんぶつ その他の畜産物	1,065	0	0%
きのこ・山菜類 ^(※2)	6,250	193	3.1%
すいさんぶつ 水産物 ^(※3)	14,599	249	1.7%

- ※1 「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」で検査対象となっている自治体(17都県)を集計(水産物のみ全国を集計)。
- ※2 超過するものは、栽培されているもの以外の、野生きのこや野生の山菜類で多いことが分かっています。
- ※3 水産庁のデータによる集計。平成23年度の17.2%から減少傾向にあり、超過するもののほとんどは、海の底にくらす海産魚や天然の淡水魚ということが分かっています。

《学校給食の安全》



写真提供：福島県
(掲載ページ：小学生用 P.6)